



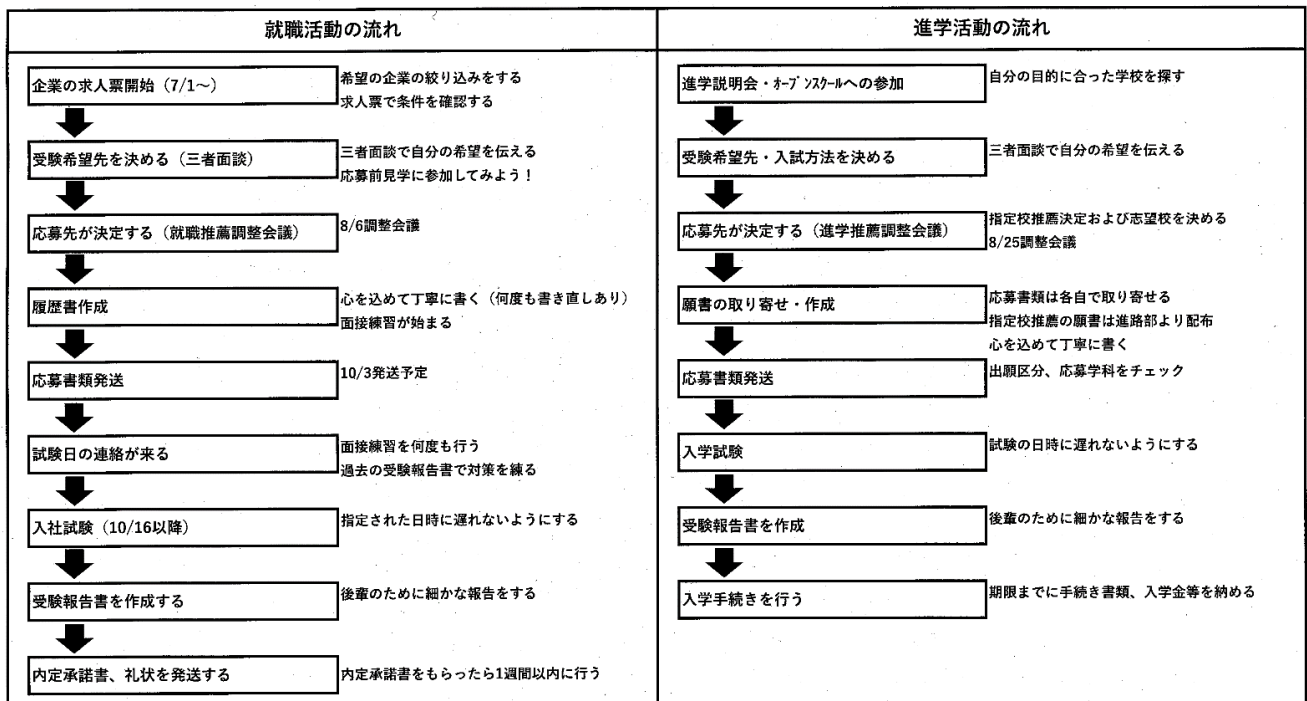
# 松工進路だより

— vol.3 —  
令和2年7月15日発行  
松江工業高校 進路部

## 就職試験・進学試験はこのように進んでいく

いよいよ今月7月1日から企業の就職求人がスタートしました。今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で就職については、10月16日から入社試験を各企業が行います。公務員については国家公務員や地方公務員（一般事務、技術職、警察官、消防官）、自衛官などがあり、応募の受付期間や試験日は各機関によってまちまちです。応募の受付期間は国家公務員が6月下旬、地方公務員が7月下旬で、一次試験は9月上旬、二次試験は10月中旬が多いようです。各自が募集要項やHP等で必ず確認してください。進学については、10月以降に推薦入学試験を行う学校が一般的ですが、総合型選抜等（旧AO入試）の入試制度によっては試験を早く行う場合もあります。

今、3年生のみなさんは、就職希望の企業の絞りこみや進学希望校の入学願書の取り寄せなど、自分で積極的にやらなければならないことがたくさんあります。情報を集めて早めに準備をしてください。また、1・2年生のみなさんは、3年生が進路に関してどのような動きをしているのかをよく見ておいてください。ちなみに、3年生の進路活動がどのように進んでいくのかということについて下図にまとめておきました。詳しいことは『進路の手引き』に書いてあります。今一度確認しておきましょう。



企業での仕事内容や大学、専門学校等の授業内容について理解を深めるためには、実際に自分の目で見て感じることも大切です。今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況にもよりますが、就職希望の人は1学期終業式後に企業の応募前見学に、進学希望の人は大学、専門学校等のオープンキャンパス（WEBを含む）に参加しましょう。なお、県外の企業や学校を訪問する場合には、担任の先生に事前に相談してください。

<裏面あり>

## 就職求人の始まり

7月1日（水）から進路部に届いた求人票は進路委員を通じて、3年生のクラスのファイルに綴じてあります。各クラスでしっかり読み込んでください。また、進路資料室でも求人票を閲覧する（メモを取る）ことができます。担任の先生との面談やインターネット、昨年の求人票などを調べて考えてきたと思いますが、いよいよ就きたい仕事・働きたい企業を絞り込む時期が来ました。



まず確認するのは「求人票が来ているか、学校指定求人か、採用枠は何人か」ということです。「希望者はどれくらいか、実際に受験できるのか」も気になるところでしょう。自分が働いている場面をイメージできれば、それを実現する企業は1つではないはず。これまで調べてきた企業、また初めて知る企業であっても、自分が学んできたことを活かし、成長していける企業が考えてみましょう。県外企業希望の人は、県内企業にも目を向けてみましょう。県外だけでなく県内にも多くの優良企業はあります。安易に県外に出てみたいからという理由ではなく、県内企業と県外企業を比較してみることや、保護者、担任の先生、科の先生、進路部の先生とよく相談することが必要です。

ただし、仕事の内容を考えず、給料・休日・残業時間ばかりを見ることは、あまり勧められません。3年間学んできた専門教科の知識・技術という強みを活かして、自分が一番輝ける場所を見つけましょう。



## 企業の求める人材とは…

進路部ではこれまで企業との関係を深めてきました。仕事の様子、職場の雰囲気、設備などを見せて頂いたり、企業として新入社員に望むことなどをうかがったりして、皆さんが企業を絞り込む参考となる情報を集めてきました。また、来校される企業の方からも、話をうかがってきました。これらの各企業の情報については担任の先生、科の先生、進路部の先生に話を聞いてみてください。

以下の3点は、企業の方との話を通じて、どの職場でも求められていると考えられるものです。

### ① コミュニケーションがとれる人

接するのはお客様だけではない。仕事は上司・同僚などとのチームワークでこなすもの。年代差をわきまえつつ、報告や連絡、相談事項などはっきりとした言葉で行ってほしい。また必要な会話だけでなく、日常のちょっとした場面でも声をかけあい、ふれあいを持つ気持ちも大切。

### ② 元気な挨拶・素直な返事ができる人

高校を卒業した人に期待されるのは、元気がよいこと。活力のある人が入社すれば職場の雰囲気もよくなり結果として業績が伸びる。また素直であれば仕事もすぐに覚えられる。会社は人材によって成り立っている。

### ③ 前向きに考える人

仕事は楽しいことばかりではない。むしろ辛いことの方が多いかもしれない。気持ちを切り替えて前向きに考え、くじけず次の一步を踏み出そう。一時落ち込んでも、次にどうすればよいのか考えること。一人で抱え込まず、上司や同僚にも相談すること。仕事は一人でするものではない。

…あてはまるでしょうか？ 自分を変えるのは自分自身！今日から意識して取り組みましょう！